

自動運転実証調査事業支援業務委託プロポーザル実施結果

自動運転実証調査事業支援業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者（以下「最適者」という。）として、NTTドコモビジネス株式会社 東海支社を特定しました。

1 審査結果

最適者	NTTドコモビジネス株式会社 東海支社
-----	---------------------

2 審査日程

項目	日程
実施要綱等の公表	令和7年7月15日
質疑受付	令和7年7月15日から 令和7年7月23日まで
質疑に対する回答	－（※）
参加表明書等の提出期限	令和7年8月12日まで
審査委員会（書類審査、プレゼンテーション及びヒアリング）	令和7年8月28日
結果発表（公表・通知）	令和7年9月3日

※質疑受付期間に質問書の提出はありませんでした。

3 評価基準

審査	評価項目	評価基準	配点
第二次審査	参加表明者の実績及び実施体制	業務実績（成果の確実性）	15
		業務実施体制	15
	業務内容	業務理解度	10
		業務実施手順	20
	提案内容	地域理解度	10
		安全性・利便性	10
		社会受容性	10
		事業の実現性	20
		事業の発展性	10
		経済性（費用対効果）	20
	取組み意欲	プレゼンテーション能力	5
		コミュニケーション能力	5
	合 計		150

4 審査の経緯

(1) 審査

令和7年7月15日に、プロポーザルに関する公告を行い、令和7年8月12日までに参加表明書等の提出があった1者について、提案内容等に関する書類審査、プレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングを行いました。

審査委員会では、その内容に対する評価と、取組み意欲に対する客観的評価を合わせた結果を踏まえて審査を行い、最適者を選定しました。

参加表明書等の提出者

受付番号	提出者名
1	NTTドコモビジネス株式会社 東海支社

5 講評

すべての評価基準において概ね一定の評価を受けました。特に他自治体での豊富な業務実績や、十分な人員を備えた業務実施体制が確立されている点で高い評価を受けました。

事業の実現性の面において、これまでの調査において課題の一つとなっていた「通信環境が不安定な状態において手動走行となる点」について、通信事業者として具体的な課題の解決方法が示されたことや、レベル4自動運転移動サービスの実現を見据えたロードマップが明確化されており、許認可取得に向け必要となる課題の洗い出しや調査が行われることが見込まれることから最適者として選定に至りました。

しかし、レベル4自動運転移動サービスの実現に向けては未確定な事項も多いことから、今後も国の動向を注視しつつ、実現に向けた取り組みの推進を期待します。

昨年度に引き続き、桃花台地区での実施であることから、最適者にはこれまでの調査で明らかとなった課題を改善し、より良い自動運転実証調査となるよう努めていただきたいと思います。